# 平成28年度 財政状況資料集

# **纷长主 (士町社)**

								华宁田休笠	の指定状況		区分	平成28年度(千円)	平成27年度(千円)	区分		平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・
i	邹道府県名	岩	手県	市町	村類型	П-	- 0	旧是四种书	WIH JE 1A JA	歳入総額		6, 642, 788	6, 514, 423	実質収支比率		8. 5	5
								財政健全化等	×	歳出総額		6, 133, 779	6, 273, 075	経常収支比率		88. 6	8
								財源超過	×	歳入歳出	<b></b>	509, 009	241, 348	(%1)		( 92. 2 )	( 91.
	市町村名	軽	米町	地方交	付税種地	2-	-1	首都	×	翌年度に	<b>操越すべき財源</b>	176, 169	19, 440	標準財政規模		3, 918, 063	3, 970, 4
								近畿	×	実質収支		332, 840	221, 908	財政力指数		0. 23	0.
		27年国調(人)	9, 33	3				中部	×	単年度収	支	110, 932	35, 263	公債費負担比率		13. 5	1-
	人口	22年国調(人)	10, 20	9	産	<b>業構造(※5)</b>		過疎	0	積立金		111, 165	94, 150	健全化判断比率			
		増減率 (%)	-8.	6				山振	0	繰上償還的	<b>È</b>	-	-	実質赤字比率		-	
		29.01.01(人)	9, 58	3 [	区分	27年国調	22年国調	低開発	×	積立金取	前し額	466, 000	-	連結実質赤字比率		-	
		うち日本人(	人) 9,51	1	[1次	1, 312	1, 464	指数表選定	0	実質単年	度収支	-243, 903	129, 413	実質公債費比率		9. 0	
住民	基本台帳人口	28.01.01(人)	9, 77	) 7	5100	27. 3	29. 6							将来負担比率		83. 5	7
	(※7)	うち日本人(	人) 9,71	2 ~	52次	1, 311	1, 345			基準財政	以入額	839, 775	809, 434	資金不足比率(※4)			
		增減率 (%)	-1.	9	5200	27. 3	27. 2			基準財政	需要額	3, 563, 116	3, 586, 993				
		うち日本人(	√6) −2.	1	第3次	2, 176	2, 143			標準税収	入額等	1, 044, 496	1, 004, 257				
Ī	面積(kml)		245. 8	2 **	50%	45. 3	43. 3			経常経費	<b>允当一般財源等</b>	3, 478, 195	3, 462, 517				
人口	密度(人/k㎡)		3	3						歳入一般	<b></b> 財源等	4, 951, 422	4, 557, 660				
世	帯数(世帯)		3, 31	3													
				職員	の状況												
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均								
	區刀	ÆW	給料月額(百円)	般		区刀	(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現	生高	7, 356, 419	7, 121, 961				
Ī	市区町村長	1	5, 65	2 職	一般職員	, ALIE	119	354, 263	2, 977	うち公的	内資金	6, 944, 100	6, 650, 175				
	副市区町村長	1	5, 22	) 員等	うち消	肖防職員	-	-		- 債務負担	<b>亍為額(支出予定額)</b>	486, 171	334, 810				
前載	<b>教育長</b>	1	5, 12	) ~	うちお	<b>技能労務職員</b>	8	23, 360	2, 920	収益事業	以入	-	-				
	義会議長	1	2, 62	) * 6	教育公務	務員	4	10, 664	2, 666	土地開発	基金現在高	122, 307	122, 307				
1	義会副議長	1	2, 19	) Č	臨時職員	American Company	-	-		-	財政調整基金	1, 295, 035	1, 649, 870				
i	義会議員	12	1, 95	)	合計		123	364, 927	2, 967	積立金 現在高	減債基金	52, 940	56, 317				
					ラスパイし	レス指数			93. 2		その他特定目的基金	566, 633	602, 100				
_ an -c	計等の一覧		車:	業会計の一	驗			公営企業 (法適)	の一覧		公営企業(法非適)の一	皆	関係する一部事務組		地方小社 . 第	<b>三セクター等一覧</b>	
項番		会計名		番	<i>ye</i>	会計名		項番	会計名			e 計名	項番	組合等名	項番	団体名	(%3
(1)	-般会計		(2	)国民健康	<b>ま保険特別</b> 会	会計		(5) 水道事業会認	†		(6) 下水道事業特別会計		(7) 岩手県市町村総	合事務組合 (一般会計)			
			(3	) 後期高齢	命者医療特別	引会計							(8) 岩手県市町村総	:合事務組合(特別会計)			
			(4	) 介護保防	<b>食特別会計</b>								(9) 二戸地区広域行	政事務組合 (一般会計)			
														政事務組合(特別会計)			
													(11) 岩手県後期高齢	者医療広域連合(一般会計)			
													(12) 岩手県後期高齢	者医療広域連合(特別会計)			

<sup>(</sup>注釈)※1:経常収支比率の()內の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。※3:地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

<sup>※</sup>ヤ・ヌ並が定れて中間には、独立がでんている場合が企立ないがません。 ※85:産業構造の比率は、分母を裁集人口終数とし、分類不能の産業を除いて算出。 ※86:個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、1絡料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(一)としている)。 ※7:住民基本台機人旧については、住民基本台機関係生報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台機、日配り入口を記載。

岩手県軽米町

# (1) 普通会計の状況(市町村)

下の子部   横成比   軽常一般財源等   横成比   下の子部   横成比   超過性   大き   横成比   大き   大き   横成比   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大	
地方譲与税	果税分
利子割交付金 k式等讓渡所得割交付金 地方消費税交付金 特別地方消費稅交付金 15.592 0.0 地方消費稅交付金 15.592 0.2 地方消費稅交付金 15.592 0.2 自動車取得稅交付金 10.965 0.2 自動車取得稅交付金 10.965 0.2 自動車取得稅交付金 0.0 地方交付稅 6.2 42,958,997 44,5 6.245 0.1 (一般財源計) (一般財源計) (人知財源計) (人知財源計) (人知財源計) (人知財源計) (人知財源) (人知財源計) (人司股財源計) (人司股財源) (人司股財源) (人司股財源) (人司股財期交付金 (人司股財源) (人司股財源) (人司股財源) (人司股財源) (人司股財源) (人司股財源) (人司股財源) (人司股財期交付金 (人司股財源) (人司股財期交付金 (人司股財源) (人司股財源) (人司股財源) (人司股財源) (人司股財期交付金 (人司股財源) (人司股財期交付金 (人司股財期交付金 (人司股財期交付金 (人司股財期交付金 (人司股財期交付金 (人司股財期交付金 (人司股財期交付金 (人司股財期交付金 (人司股財期交付金 (人司股財期交付金 (人司租金) (人司股財期交付金 (人司租金) (人司股財期交付金 (人司租金) (人司租金) (人司租金) (人司股財期交付金 (人司租金)	
配当割交付金	
株式等譲渡所得割交付金 150,432 2.3 150,432 15,592 0.0 150,592 10,045 150,432 2.3 150,432 15,592 0.2 特別地方消費税交付金 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.4 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 10,965 0.2 10,965 0.3 16,700 0.0 16,700 0	
地方消費税交付金	
15,592	
特別地方消費稅交付金 監油引取稅交付金 地方特例交付金 地方特例交付金 地方特例交付稅 地方交付稅 特別交付稅 特別交付稅 特別交付稅 (一般財源計) 交通安全対策特別交付金 (戶假期常計) 交通安全対策特別交付金 (戶用料 手数料 (百度以入 (百度以入 (百度以入) (百度) (百度以入) (百度以	
自動車取得税交付金	
軽油引取税交付金 902 0.0 902 0.0   地方转例交付金 902 0.0 902 0.0   地方转例交付税 2.958,997 44.5 2.720,410 72.1   普通交付税 2.720,410 41.0 2.720,410 72.1   特別交付税 232,342 3.5 - -   震災復興特別交付税 6.245 0.1 - -   (一般財源計) 4,004,564 60.3 3,765,977 99.9   交通安全対策特別交付金 913 0.0 913 0.0   分担金・負担金 11,764 0.2 - -   使用料 6,489 0.1 - -   手数料 6,489 0.1 - -   国库提供交付金(特別区財調交付金) 4.7 - - -   都道府県支出金 311,594 4.7 - - -   財産収入 47,517 0.7 - - - -   高財産収入 47,517 0.7 - - - - -   機入金 518,448 7.8 -	
地方特例交付金	
地方交付税 普通交付税 特別交付税 特別交付税 (一般財源計) 2,958,997 2,720,410 33.5 6,245 913 0.0 913 0.0 913 0.0 0.0 5년麻料 手数料 6,489 6,589 6,76,320 7776,320 7776,320 7776,320 7776,320 7776,320 7776,320 77776,320 7778,320 7778,320 7778,320 7778,32	
普通交付税 特別交付税 特別交付稅 (一般財源計) 2,720,410 232,342 6,245 0,1 4,004,564 60.3 913 0,0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
特別交付税 震災復興特別交付税 (一般財源計) 交通安全対策特別交付金 分担金・負担金 使用料 手数料 国庫支出金 国車支出金 国車支出金 国市提供交付金(特別区財調交付金) 引1,764 5,624 5,836 5	
震災復興特別交付税 (一般財源計) 6,245 4,004,564 913 913 0.0 913 0.1 913 0.0 913 0.0 913 913 913 913 913 913 913 913 913 913	
(一般財源計) 4,004,564 60.3 3,765,977 99.9 5.2 91.3 99.9 3.765,977 9.9 3.765,977 9.0 9.9 3.765,977 9.9 3.765,977 9.9 3.765,977 99.9 3.765,977 9.9 3.765,977 99.9 3.765,977 99.9 3.765,977 99.9 3.765,977 99.9 3.765,977 99.9 3.765,977 99.9 3.765,977 99.9 3.765,977 99.9 3.765,977 99.9 3.765,977	
交通安全対策特別交付金 分担金・負担金 使用料 長数料 国庫支出金 国庫支出金 国有提供交付金(特別区財調交付金) 913 0.0 0.2 0.9 6.489 0.1 429.067 6.5 0.1 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	
分担金・負担金 使用料 手数料 国庫支出金 国有提供交付金(特別区財調交付金) 11,764 6,624 6,489 7,517 6,489 7,517 7,6,320 0.1 2,045 6,624 6,489 7,517 7,6,320 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	
使用料 56,624 0.9 2,045 0.1 都市計画税	
手数料	
国庫支出金	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	
都道府県支出金 財産収入 311,594 4,395 58附金 47,517 518,448 4.7 0.0 7 0.0 7 0.7 518,448 - 合計 776,320 0.0 7 0.0 0.0	
財産収入 4,395 0.1 1,493 0.0   寄附金 47,517 0.7 - - 区分 平成28年度 平成27   繰入金 518,448 7.8 - - 合計 98.2 89.0 97.8	
財産収入	
繰入金 518,448 7.8	
	年度
	88.
繰越金   241,348   3.6   -   -   「塚以と が・計   市町村民税   98.7 91.9   98.2	91.
163,665   2.5   467   0.0   (%) 年 前 川町代式代   30.7   31.8   30.2   31.8   30.2   31.8   31.	84.
地方債 846,400   12.7	
うち滅収補塡債(特例分) 公営事業等への繰出 国民健康保険事業会計の状況	兄
うち臨時財政対策債 153,100 2.3 - 合計 747,635 実質収支	
歳入合計   6,642,788   100.0   3,770,895   100.0   上水道   145,425   再差引収支	-48, 11

公営事業等/	>の繰出	国民健康保険事業会計の	の米温
合計	747, 635	実質収支	-
上水道	145, 425	再差引収支	-48, 119
下水道	69, 800	加入世帯数(世帯)	1, 696
介護サービス	18, 173	被保険者数(人)	3, 014
工業用水道	-	被保険者 (保険税(料)収入額	79
国民健康保険	179, 652	11411 〈 国牌文田玉	148
その他	334, 585	「ハヨッ 」 保険給付費	291

88. 8 91. 2 84. 9

### (注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

			位 千円・%)			
	目的別歳		(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A) のうち普通弾	記事業費	(A)のうち充	
議会費	89, 592	1.5		-		89, 592
総務費	874, 174	14. 3		34, 382		766, 756
民生費	1, 620, 025	26. 4		24, 486		1, 037, 926
衛生費	438, 913	7. 2		18, 542		403, 500
労働費	486	0.0		10, 042		476
	404, 666	6.6		194, 315		173. 674
農林水産業費						
商工費	235, 497	3.8		126, 411		89, 085
土木費	598, 927	9.8		290, 992		331, 234
消防費	456, 907	7.4		212, 385		252, 591
教育費	597, 437	9.7		9, 735		541, 301
災害復旧費	149, 007	2.4		-		89, 016
公債費	668, 148	10.9		_		667, 262
諸支出金	_	_		_		_
前年度繰上充用金	_	_		_		_
歳出合計	6, 133, 779	100.0		911, 248		4, 442, 413
	0, 133, 779	100.0		911, 240		4, 442, 413
	AL 757 CU -S	II WITE III	/#/L TITL 0/\			
5.0	性質別歳		(単位 千円・%)	ΛΩ ΔΕ ΛΩ ΔΕ →-	V/ 60 B1 75 64	47 44 do + 11. +
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	栓吊栓質允	当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2, 497, 926	40. 7	1, 987, 502		1, 876, 171	47. 8
人件費	1, 095, 856	17. 9	1, 011, 241		971, 244	24. 8
うち職員給	665, 116	10.8	599, 681		-	-
扶助費	733, 922	12.0	308, 999		237, 665	6. 1
公債費	668, 148	10.9	667, 262		667, 262	17. 0
元利償還金	668, 148	10.9	667, 262		667, 262	17. 0
内 うち元金	611, 942	10.0	611, 056		611, 056	15. 6
訳   うち利子	56, 206	0. 9	56, 206		56, 206	1. 4
一時借入金利子	00, 200	0.0_	00, 200		00, 200	
その他の経費	2, 575, 598	42. 0	2, 225, 030		1. 602. 024	40. 8
物件費	1, 003, 695	16.4	851, 376		663, 482	16. 9
維持補修費	88, 296	1.4	79, 509		79, 509	2. 0
補助費等	737, 894	12.0	627, 265		509, 276	13. 0
うち一部事務組合負担金	314, 604	5. 1	296, 904		296, 827	7. 6
繰出金	602, 210	9.8	528, 834		349, 757	8. 9
積立金	124, 769	2. 0	124, 312		-	-
投資・出資金・貸付金	18, 734	0.3	13, 734		_	_
前年度繰上充用金	_	_	_			
投資的経費計	1, 060, 255	17. 3	229, 881			
うち人件費	21, 339	0.3	21, 339			
普通建設事業費	911, 248	14. 9	140, 865			
内内の方が	182, 191	3.0	19, 858			
🔐   うち単独	718, 107	11.7	120, 957			
災告復旧争耒貧	149, 007	2. 4	89, 016			
失業対策事業費	-	-	-			
歳出合計	6, 133, 779	100.0	4, 442, 413			

## (2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般芸計等の財政状況(単位:日万円)					/ A = 1 Adm			
会計名	歲入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	6,646	6,137	509	333	518	7,356		
2								
3								
4								
5								
6								
7								
В								
9								
0								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質表
一般会計等(純計)	6,643	6,134	509	333		7,356		

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

公宮正来芸訂寺の対映状況(単位: 日力) 会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	1,557	1,551	7	7	145	-	-	-	
2 後期高齢者医療特別会計	86	86	0	0	37	-	-	-	
3 介護保険特別会計	72	70	2	2	18	-	-	-	
4 水道事業会計	380	355	25	922	132	2,465	1,723	-	法適用企業
5 下水道事業特別会計	153	149	4	4	70	957	843	-	法非適用企業
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									連糸
計 公営企業会計等				935					

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	岩手県市町村総合事務組合(一般会計)	10,962	10,832	130	130	71	-	-	
2	岩手県市町村総合事務組合(特別会計)	121	107	14	14	15	-	-	
3	二戸地区広域行政事務組合(一般会計)	2,189	2,121	68	68	-	1,135	217	
4	二戸地区広域行政事務組合(特別会計)	7,711	7,325	386	386	89	-	-	
5	岩手県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	195	190	5	5	5	-	-	
6	岩手県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	159,661	154,071	5,590	5,590	370	-	-	
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
81	一部事務組合等								

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 純資産又は 正味財産

平成28年度

岩手県軽米町

	平	成26年度	平成27年度	平成28年度	分母.	比		内訳			平成26年度	平成27年度	平成28年度	分母比
	-	#00 <i>*</i> #	W etca to the		<b>将来負担</b>		千円・%)	-t			TI CHOO C C	W chooks ch	TI charter	A.B.U.
	>	※地方公共	団体財政健	全化法に基づ	き将来負	負担比率σ	算定対象とな	っている法人	については、	〇印を付与し	ている。			
ļ				<del>- 寺</del> %以上出資して	いる法人	人又は②月	財政支援を行 <sub></sub>	っている法人	を記載している	5.				
	82	地方小針・	第三セクター	-										
	81													
	79 80													
	78 79													
	77													
	76													
	74 75													
	73													
	72													
	70 71													
	69													
	67 68													
	66 67													
	65													
	63 64													
	62													
	61													
	59													
	57 58 59 60													
字額 —	56 57													
	55													
	53 54													
	52													
	51													
	49 50													
	48													
	46 47													
	45													
	44													
	42 43													
	41													
	39 40													
	38 39													
	37					_								
	35 36													
	33 34													
	31 32													
	30													
	28 29													
	27													
	26													
	24 25													
	23													
	21													
	20													
	18													
	17 18													
	16													
	14 15													
	13													

PFI事業に係るもの

いわゆる五省協定等に係るもの

行 社会福祉法人の施設建設費に係るもの

その他上記に準ずるもの 水道事業会計

企業債等 繰入見込額

損失補償・債務保証の履行に係るもの 引き受けた債務の履行に係るもの

下水道事業特別会計

後期高齢者医療特別会計 その他の会計

地方道路公社に係る将来負担額 

その他第三セクター等に係る将来負担額

1,726,731 1,723,320

842,868

854,279

1,700,363

885,686

51.2

25.1

218.7

0.4

6,940,875 7,121,960 7,356,419

219,894

968,416

(E) 10,589,078 10,891,280 11,058,593

2,361,591 2,452,442 2,072,339

26,210

2,581,010 2,566,188

216,555

13,917

2,586,049

15,856

1,046,298

64,552

公債	費負担の状況					将来負担の	状況		
	実質公債費比率 (	千円・%)							
	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	分母比		区	分	
元利	償還金	712,932	669,429	668,148	19.9	9.9 将来負担額 一般会計等に係る地方債の			高
減債	基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為(	に基づく支出予定額	Ą
準	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等網	<sup>桑</sup> 入見込額	
元	公営企業債の元利償還金口対する繰入金	165,372	168,794	171,923	5.1		組合等負担等身	見込額	
利償	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	2,717	3,719	3,989	0.1		退職手当負担身	見込額	
還	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	8,095	2,593	2,589	0.1		設立法人等の負	負債額等負担見込	額
金	一時借入金の利子	-	-	-	-		うち、健全化法施行	<b>庁規則附則第三条に係</b>	る負担男
	合計 (A	889,116	844,535	846,649		1	連結実質赤字額	Ą	
	内訳	平成26年度	平成27年度	平成28年度	分母比		組合等連結実質	質赤字額負担見込	額
	PFI事業に係るもの	-	-	-	-		合計		
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	充当可能	充当可能基金		
债	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	財源等	充当可能特定	<b></b>	
務	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額	領算入見込額	
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-		合計		
行	損失補償・債務保証の履行に係るもの	5,420	-	-	-	将来負担比	率((E)-(F))/(	(C)-(D)) × 100	
為	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-				
	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-				
	利子補給に係るもの	2,675	2,593	2,589	0.1	健	全化判断比率	平成28年度	早期
特定	財源の額 (E	2,875	1,567	886		実質	赤字比率	-	
標準	財政規模 (6	3,878,380	3,970,438	3,918,063		連結	実質赤字比率	-	
算入	公債費等の額 (ロ	552,074	558,680	553,768		実質	公債費比率	9.0	
	(C)-(E	3,326,306	3,411,758	3,364,295		将来	負担比率	83.5	
実質	実質公債費比率 (単年度)		8.3	8.7		1 -			
	—((B)+(D))) / ((C)−(D)) × 100 (3ヵ年平均	) 10.1	9.3	9.0		1			

-	充当可能特定歲力	λ		64	,552	26,210	13,917	
-	基準財政需要額算	算入見込額		5,882	,823	5,933,220	6,159,987	
-	合計	8,308,966 8,411,872		8,411,872	8,246,243	I		
-	将来負担比率((E)-(F))/((C	C)-(D)) × 100			68.5	72.6	83.5	
-								
-								
.1	健全化判断比率	平成28年度	早期健全	化基準	財政	<b>女再生基準</b>		
_	実質赤字比率	-		15.00		20.00		
_	連結実質赤字比率	-		20.00		30.00		
	実質公債費比率	9.0		25.0		35.0		
_	将来負担比率	83.5		350.0				
_								

うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額

# (3)市町村財政比較分析表(普诵会計決算)

当該団体値 類似団体内平均値 最大値及び最小値

類似団体内の

9, 583 人(H29.1.1現在) 人(H29.1.1現在) うち日本人 9.511 245.82 kmi 9.0 96 入総額 6, 642, 788 千円 鲁 相 比 寒 6, 133, 779 千円 曲 出 絵 額 III — O H25 III — O H26 III — O 332 840 実 賞 収 支 丰田 H27 II - O H28 II - O 3, 918, 063 千円 7, 356, 419 地方债现在高

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成29年度中に市町村会供した団体で、会併前の団体ごとの決策に基づく実質の信義と率及び将来負担と率を第出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

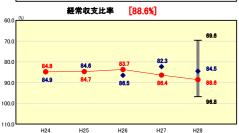
※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

### 財政力 財政力指数 [0.23] 1.03 0.80 0.60 0.40 0.26 0.20 0 12 H24 H25 H26 H27 H28

### 看似团体内槽位 0.50 0.35

人口減少や全国平均を大きく上回る高齢化率(平成28年度末36.7%)に加え、 町内に中心となる産業がないこと等により財政基盤が弱く、類似団体平均値(全 国平均、岩手県平均とも)を下回っている。組織の見直しや計画的な定員管理等 により行政の効率化に努めたが、今後も軽米町総合発展計画や軽米町人口ビ ジョン・総合戦略に沿った施策の推進による活力ある町づくりを進めるとともに、 再生可能エネルギー事業や企業誘致等による雇用の創出を図ることにより財政 基盤の強化に努める。



財政構造の弾力性

## 類似団体内順位

### 経常収支比率の分析機

支出の内訳を見ると、公債費については類似団体平均を下回っているものの、 人件費や物件費が平均を上回っている。また、維持補修費が増額となったほか、 経常一般財源である普通交付税及び臨時財政対策債等が減額となったことから、 経常収支比率は前年度比2.2ポイント増の88.6%となった。

今後は、適正な人員配置と行政改革を推進するとともに、事業の選択等により 公債費の増加を抑制することで経常経費の削減に努める。







### 人口1人当たり人件書・物件書等決算額の分析権

人件費については、給与水準は類似団体より低いものの、町内の全ての保育 園が公立であることなどから、民生関係の人件費が類似団体平均を上回ってい る。物件費については、教育費に係るものが類似団体平均より高くなっており、こ れは小中学校の統廃合に伴うスクールバスの運行業務等に経費を要するため

146,377

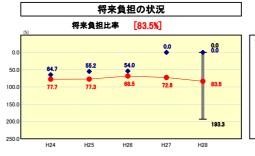
123,135

人件費及び物件費とも類似団体平均を下回っているが、今後も行政改革大綱 及び定員適正化計画等に基づき、適正な人員配置と経費の削減に努める。

### 平成28年度

### 岩手県軽米町

11.4



### 籍似团体内籍位

34.5

全国平均

平成26年度までは改善傾向にあったが、27年度は組合負担等見込額の増加により 72.6%(前年度比4.1ポイント増)、28年度は財政調整基金の取り崩しなどによる充当可 能財源の減等により83.5%(前年度比10.9ポイント増)となった。早期健全化基準の 350.0%は大きく下回っているが、類似団体平均を上回っている状況にあることから、将 来負担のうち大きな割合を占める普通会計の地方債残高や今後増加が見込まれる公 営企業地方債に対する繰出に留意し、計画的な借入や繰上償還の実施等により将来負 担の減に努める.

### 公債費負担の状況



過去からの起債抑制策により減少傾向にあるが、軽米小学校建設事業や晴山 保育園整備事業等に係る償還が始まることから公債費比率の大幅な増加が見

また、今後も交流駅整備事業や老人福祉施設整備事業などを計画しているこ とから、事業の選択と計画的な地方債の発行等により、引き続き実質公債費比 率16%以下の水準を目途とし、類似団体を大きく上回ることがないように努める。

### 定員管理の状況

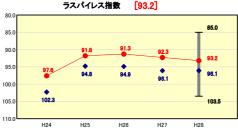


### 人口千人当たり職員数の分析権

類似団体内順位

昭和63年度に第1次軽米町定員適正化計画を策定し、その後5年ごとに見直し を行っている。第4次計画においては平成15年の198人から7年間で42人を削減、 第5次計画では27年度までの5年間で19人を削減するなど定員の適正化に努め てきた。人口千人あたりの職員数は類似団体平均を下回っているが、今後も業 務内容や業務量等を総合的に判断し計画的な採用を行いながら職員の適正配 置に努める。

# 給与水準 (国との比較)



### 12/98 ラスパイレス指数の分析機

類似団体内順位

類似団体に比較して職員数が多く、人件費が平均を上回っていたことから、そ の抑制に努めてきた結果、ラスパイレス指数は類似団体を下回っている。給与水 準については、今後も総人件費と財政規模等の状況や類似団体とのバランス等 を考慮しながら対応する。

全国町村平均

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

岩手県軽米町

岩手県平均

岩手県平均

岩手県平均

岩手県平均

12.8

126

13.9

## 経常収支比率の分析



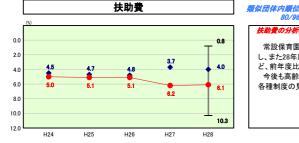
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



### 着似闭体内槽位 全国平均 岩手県平均 66/96 237 223

昭和63年度に第1次軽米町定員適正化計画を策定し、その後5年ごと に見直しを行いながら定員の適正化に努め、また給料の独自削減(平 成18、19年度)や職員手当、特別職報酬の見直しを行うなど人件費の 抑制に努めてきたが、職員の高年齢化などにより、類似団体の平均を 上回っている。

今後も定員適正化計画に基づく職員の適正配置や組織の見直し、事 業の民間委託等を進め、人件費の低減に努める。



常設保育園の新設に伴い平成27年度から保育所運営事業費が増加 し、また28年度においては児童生徒医療費助成事業費が増加するな ど、前年度比△0.1ポイントの6.1%となった。

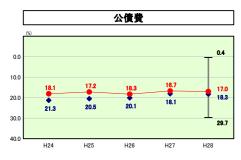
12.4

全国平均

岩手属平均

岩手県平均

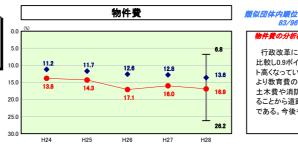
今後も高齢化等の進行に伴う扶助費の増加が予想されることから、 各種制度の見直しを検討するなど、効果的な事業運営に努める。



### 類似団体内順位 全国平均

### 公債費の分析機

経常収支比率は前年度と比較し0.3ポイント増の17.0%で、類似団体 平均と比較すると1.3ポイント低くなった。常設保育園の新設や学校統 合に伴う校舎建設事業等に係る償還に伴い今後上昇することが見込 まれるが、事業の選択により地方債の発行を抑制し、類似団体平均を 上回らないよう努める。



行政改革により経費節減に努めているが、経常収支比率は前年度と 比較し0.9ポイント増の16.9%となり、類似団体平均と比較して3.3ポイン ト高くなっている。小中学校の統廃合に伴うスクールバスの運行などに より教育費の委託料等が類似団体に比較して高いほか、目的別では 土木費や消防費が比較的高くなっている。集落が広範囲に点在してい ることから道路整備等に係る土木費や消防経費が嵩むことなどが要因 である。今後も物件費の抑制のため、行政改革の更なる推進に努める。

全国平均

14.8



平成28年度の経常収支比率は前年度と同じ13.0%となった。類似団 体平均をやや下回っているが、今後も町単独補助金等の見直しを行う など、効果的な補助金の交付に努める。



経常収支比率は前年度と比較し0.5ポイント増の10.8%で、類似団体 平均と比較すると1.0ポイント低くなった。繰出金は前年度と比較し △13,885千円(△3.8%)の減となったが、公営住宅や観光施設の修繕 等により維持補修費が26.251千円(49.2%)増加したことが主な要因であ る。今後も計画的な修繕を進めていく必要があることから、他会計への 繰出金の抑制に努めることとする。

全国平均

13.5



### 類似団体内順位 全国平均

# 公債費以外の分析欄

### 経営収支比率における公債費以外の割合は、類似団体と比較して高 い状況にある。適正な人員配置による人件費の削減、行政改革の推 進による物件費の削減等を進めるなど、各種経費を抑制していく必要

当該団体値

類似団体内平均値

類似団体内の

▲ 最大値及び最小値

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析 人口1人当たり決算額の推移 ● 当該団体値 (円) ◆ 類似団体内平均値 400,000 類似団体内の 最大値及び最小値 297,443 300,000 200,000 167,785 170,662 132,079 131,655 132,853 134,970 100,000 122,985 125,458 123.867 85,285 H25 H28 H24 H26 H27

### 人件費及び人件費に準ずる費用

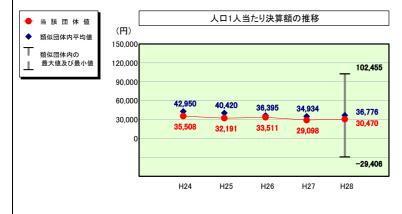
	当該団体冴昇額		人口1人当たり決算	L額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1, 095, 856	114, 354	134, 601	<b>▲</b> 15.0
賃金(物件費)	55, 407	5, 782	15, 652	<b>▲</b> 63. 1
一部事務組合負担金(補助費等)	171, 436	17, 890	22, 688	<b>▲</b> 21.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	_	3, 308	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	_	1	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	49, 363	5, 151	6, 215	<b>▲</b> 17. 1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	21, 339	2, 227	3, 213	<b>▲</b> 30. 7
▲退職金	<b>▲</b> 99, 982	<b>▲</b> 10, 433	<b>▲</b> 15, 018	<b>▲</b> 30.5
合計	1 203 //10	134 970	170 662	<b>▲</b> 20 0

### 参者

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	12. 84	15. 35	<b>▲</b> 2.51
ラスパイレス指数	93. 2	96. 1	<b>▲</b> 2.9

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

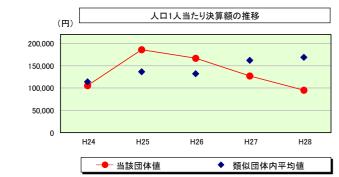


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額	人口1人当たり決算額				
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)		
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	668, 148	69, 722	102, 910	▲ 32.2		
積立不足額を考慮して算定した額	-	_	73	-		
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	271	-		
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	171, 923	17, 940	22, 640	▲ 20.8		
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	3, 989	416	4, 886	▲ 91.5		
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	2, 589	270	1, 587	▲ 83.0		
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	17	-		
▲特定財源の額	▲ 886	<b>▲</b> 92	<b>▲</b> 4, 567	<b>▲</b> 98.0		
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	<b>▲</b> 553, 768	<b>▲</b> 57, 786	<b>▲</b> 91,042	▲ 36.5		
合計	291, 995	30, 470	36, 776	<b>▲</b> 17. 1		

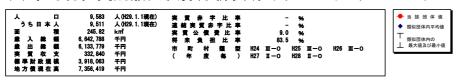
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (参考) 普通建設事業費の分析

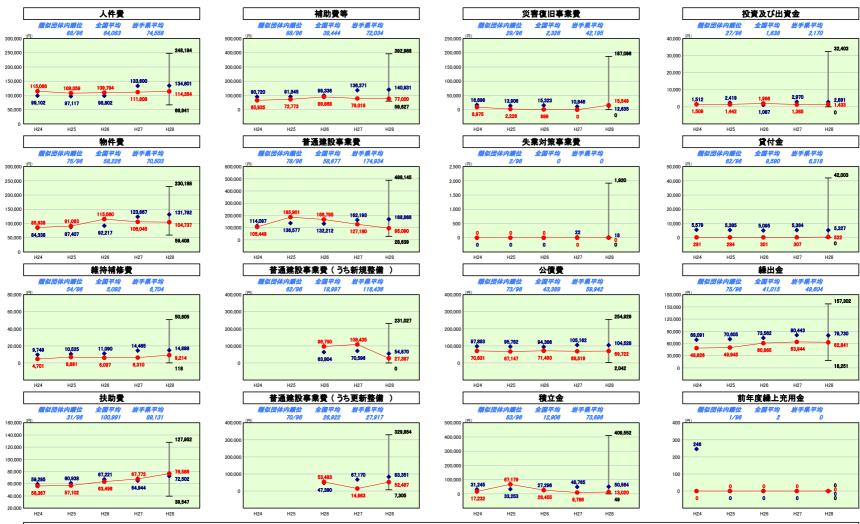


### 普通建設事業費

		当該団体決算額	人口1人当たり決算額					
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)	
H24		1, 087, 922	105, 449	<b>▲</b> 40.5	114, 097	<b>▲</b> 2.7	<b>▲</b> 37.8	
	うち単独分	503, 987	48, 850	1. 5	61, 630		<b>▲</b> 2.3	
H25		1, 896, 935	185, 901	76. 3	136, 577		56. 6	
	うち単独分	467, 958	45, 860	<b>▲</b> 6.1	59, 645	<b>▲</b> 3.2	<b>▲</b> 2.9	
H26		1, 663, 276	166, 795	<b>▲</b> 10.3	132, 212		<b>▲</b> 7. 1	
	うち単独分	894, 072	89, 658	95. 5	67, 114		83. 0	
H27		1, 242, 552	127, 180	<b>▲</b> 23.8	162, 193	22. 7	<b>▲</b> 46. 5	
	うち単独分	593, 811	60, 779	<b>▲</b> 32. 2	79, 985	19. 2	<b>▲</b> 51.4	
H28		911, 248	95, 090	<b>▲</b> 25. 2	168, 868	4. 1	<b>▲</b> 29.3	
	うち単独分	718, 107	74, 936	23. 3	79, 360		24. 1	
過去5年間平均		1, 360, 387	136, 083	<b>▲</b> 4.7	142, 789		<b>▲</b> 12.8	
	うち単独分	635, 587	64, 017	16. 4	69. 547	6. 3	10. 1	



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

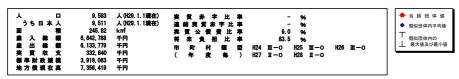


### 性質別蔵出の分析機

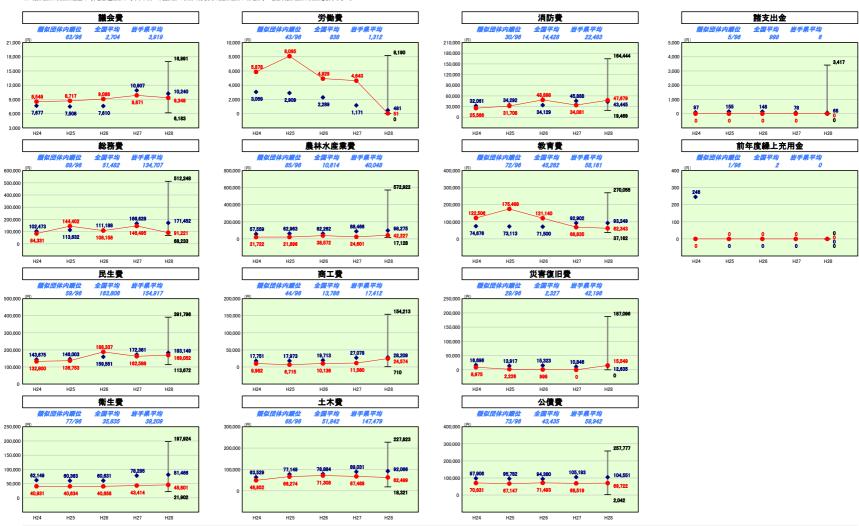
扶助費と災害復旧事業費における住民一人当たりのコストが、類似団体平均を上回っている。

扶助費については、医療費助成事業や常設保育園の新設に伴う児童福祉費が増加傾向にあり、平成24年度から28年度にかけて約36%増加している。

災害復旧事業費については、平成28年8月の台風10号に係る災害復旧事業の増加によるものである。



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



### 目的別蔵出の分析物

役場庁舎に係る地中熱暖房システムや太陽光発電設備等の整備事業の皆減に伴い、総務費における住民一人当たりのコストが前年度の146,495円から91,221円に大きく減少した。

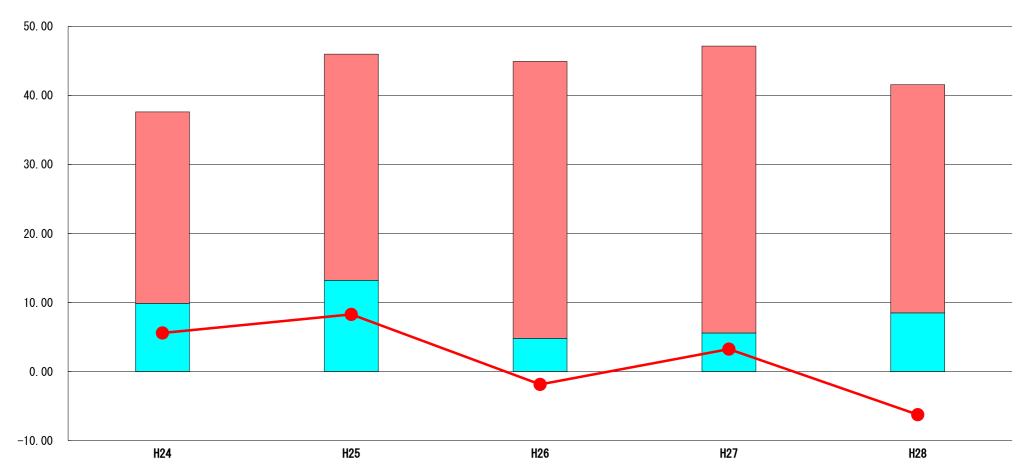
一方、消防費においては、デジタル防災行政無線整備事業の実施に伴い前年度の34.081円から47.679円に増加、災害復旧事業費においては、台風10号に係る災害復旧事業の増加により5,549円に皆増となり、類似市町村平均を上回る状況となった。なお、住民一人当たりのコストが最も大きいのは民生費で、高齢化等に伴う社会保障経費の増加や、保育園運営経費等の児童福祉費の増加が主な要因と考えられる。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成28年度

岩手県軽米町

## 標準財政規模比(%)



# 標準財政規模比(%)

区分 年度	H24	H25	H26	H27	H28
財政調整基金残高	27. 73	32. 76	40. 11	41. 55	33. 05
実質収支額	9. 88	13. 22	4. 81	5. 59	8. 50
実質単年度収支	5. 60	8. 29	▲ 1.85	3. 26	▲ 6.23

## 分析欄

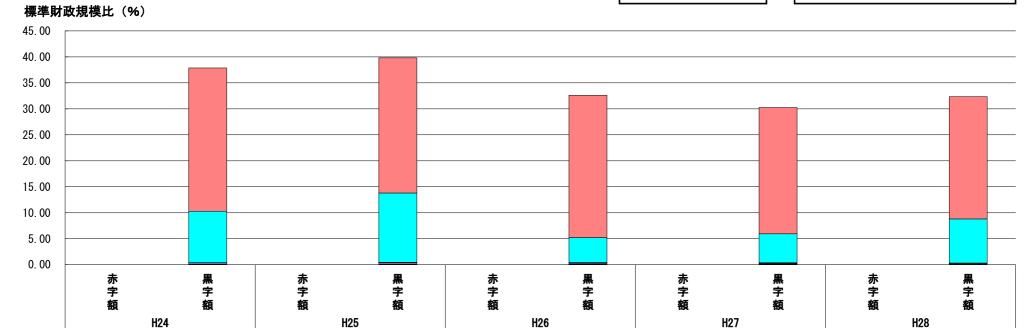
計画的な財政運用等により実質収支比率は黒字が続いている。実質単年度 収支については、町単独事業に係る支出が増加した26年度及び台風10号災 害に係る臨時財政需要のあった28年度に赤字となった。

28年度における実質収支額は332,840千円、財政調整基金については、財源 不足分として466,000千円を取り崩したことから、残高は1,295,035千円となった。 財政基盤の弱い当町においては、地方交付税等依存財源の増減による影響 が大きいため、行政改革の推進などにより一層計画的、効率的な財政運用に 努める。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成28年度

岩手県軽米町



## 標準財政規模比(%)

年度 会計	H24	H25	H26	H27	H28
水道事業会計	27. 59	26. 01	27. 38	24. 30	23. 53
一般会計	9. 88	13. 33	4. 81	5. 58	8. 49
国民健康保険特別会計	0. 02	0. 07	0. 06	0. 11	0. 17
下水道事業特別会計	0. 25	0. 26	0. 19	0. 10	0. 11
介護保険特別会計	0.06	0. 06	0. 09	0. 07	0. 04
後期高齢者医療特別会計	0. 07	0. 08	0. 08	0. 09	0. 00
その他会計(赤字)		_	_	_	_
その他会計(黒字)					_

## 分析欄

全ての特別会計及び公営企業会計において黒字となっているが、引き 続き行政改革を推進するなど、事業の精査や効率化を図り黒字の維持 に努める。

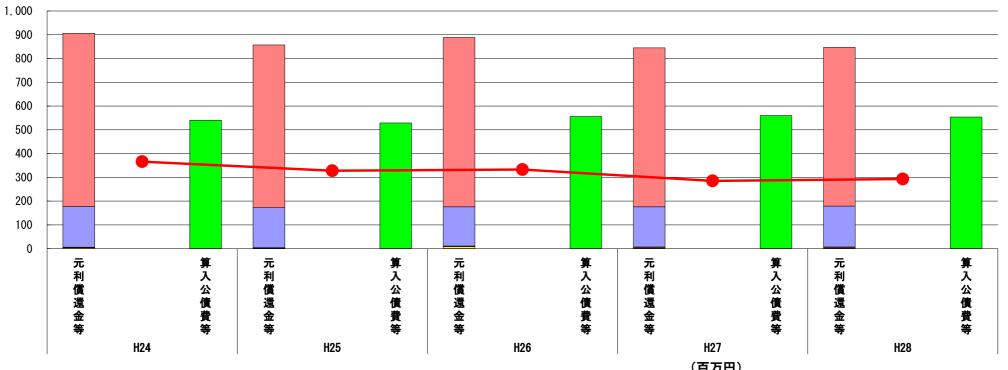
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (9) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成28年度

岩手県軽米町

# (百万円)



_						(0)11/
分子の構造	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	元利償還金	729	685	713	669	668
	減債基金積立不足算定額	_	-	1	-	_
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	_	_	1	-	-
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	171	168	165	169	172
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	2	2	3	4	4
	債務負担行為に基づく支出額	4	2	8	3	3
	一時借入金の利子	_	-	1	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	540	529	556	560	554
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	366	328	333	285	293

## 分析欄

実質公債費比率(3ヵ年平均)を年度別にみると、平成21年度の16.0%をピークに22年度以降は減少に転じ、28年度においては9.0%となった。単年度の比率は10%前後で推移してきており28年度は8.7%となっている。しかしながら、今後、小学校や保育園整備に係る元金の償還を控えているほか、財政基盤の弱い当町においては分母を構成する地方交付税等の増減にも大きく左右されることから、計画的、効率的な財政運用により、今後も実質公債費率の低減に努める。

<sup>※</sup>平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。